

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	消防局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	消防局総務課
	施策	消防・救急の充実強化		電話番号	087-861-2502
	基本事業	消防施設・設備の整備		事業実施主体	市
	事務事業	消防署所適正配置整備事業		事業期間	平成28年度～令和3年度

【事業全体概要】

事業の概要	南海トラフ地震等の大規模災害時にも防災拠点施設としての機能を維持するため、消防署・分署及び出張所の耐震化を行うとともに、効率的・効果的な消防体制を整備するため、消防庁舎の移転整備や機能統合を行うなど、消防署所配置の適正化を図る。				
	3年度概要	東消防署山田出張所整備 ・仮設事務所建設等 ・旧出張所解体等 ・新庁舎建設工事等			
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等整備	

【事業の目的】

対象(何を)	消防署所
意図(どのような状態にしたいか)	消防署・分署・出張所の防災拠点施設としての機能を強化し、消防署所を適正に配置する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
整備署所数	箇所	1	1	1		1

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
	消防署所の耐震化率	%	目標値		91	91	91	100
	実績値	83	91	91				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 100.0%
	今後、2020年度末には耐震化率100%を達成できる見込みである。							35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R2
	消防署所数	箇所	目標値		12	12		
	実績値	12	12	12				
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度) 100.0%
								35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[円]	627,168	9,956	21,011	163,363
(事業費)	[円]	622,065	5,024	16,096	158,448
(職員人件費)	[円]	5,103	4,932	4,915	4,915

【評価】

評価ランク (A~D)	<b>A</b>	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	<b>継続</b>
-------------	----------	---------------------------	-----------

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

東消防署山田出張所建設実施設計を始め、仮設事務所建設に伴う用地造成工事等を完了させた。今後は、解体建設工事を進めるとともに、整備工事に伴う周辺施設の撤去移設工事等を実施する。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

2020年度の事業完了に向け東消防署山田出張所の整備に取り組む。

平成3年度（30年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	消防局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	消防局情報指令課
	施策	消防・救急の充実強化		電話番号	087-861-2500
	基本事業	消防施設・設備の整備		事業実施主体	市
	事務事業	消防緊急情報システム整備事業		事業期間	平成28年度～平成30年度

【事業全体概要】

事業の概要	整備後10年以上経過した車載端末装置及び署所端末装置の更新を行うとともに、消防指令システムの機器の再リースを行うことにより、火災を始めとした通報の迅速・的確な受信体制を構築して災害現場における情報伝達体制を向上させ、効果的な災害活動を実施し、住民がより安心して暮らせる安全な街づくりに貢献する。無線設備・機器を、高機能消防指令システムの運用開始後に旧システムを、廃棄物の処理及び清掃に関する法律を始めとした各種法令に従い、適法に処理する。				
3年度概要					
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	インフラ・施設等維持管理	

【事業の目的】

対象(何を)	消防緊急情報システム
意図(どのような状態にしたいか)	災害活動時における情報伝達体制の充実・強化を図り、安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
前年度からの進捗率	%	8	7	2		100

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
成果指標	事業全体進捗率	%	目標値	95	98	100		100
			実績値	90	97	100		
	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 高機能消防指令システムの整備が完了し、目標を達成することができた。 (目標達成度)							(達成度) 100.0% 35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H28	H29	H30	H31	中期目標 R 2
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	平成31年度(予算)
トータルコスト	[円]	132,111	175,240	25,459	
(事業費)	[円]	116,409	160,066	10,335	
(職員人件費)	[円]	15,702	15,174	15,124	

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	完了
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

高機能消防指令システムの運用開始後に、旧システムを廃棄物の処理及び清掃に関する法律を始めとした各種法令に従い、適法に処理を行った。
---

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

--